

第30回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：平成31年4月24日（水）10:20～11:40

会場：東京都庁第一本庁舎33階南側A-1会議室

1 開会

2 議事

(1) オーバーレイブック更新等業務委託について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・資料の8頁に「特別契約（原則、基本設計を受託した設計事務所）」とあるが、基本設計を受託した設計事務所以外と契約することもあるのか。
⇒基本設計者への委託を想定しているが、人手不足など様々な事情で受けていただけない場合は、DB事業者へ委託する。
- ・基本設計者とDB事業者とでは熟知度が異なると思うが、契約金額に差をつけるのか。
⇒基本的には、基本設計者を受託者として想定した費用の範囲内で交渉する。
- ・図面は機密度が高いので、従事する事業者を増やさない方がよいのではないか。うまく交渉していただきたい。
- ・2020年3月で委託業務は完了するが、オーバーレイブックに修正が必要となった場合は、どのように対応するのか。
⇒2020年3月の段階では、その後の設計変更はありうる。基本的には組織委員会のCADチームが修正するなど職員で対応するか、別途実施設計者に対応をお願いします。

(2) 競技馬の国際輸送に関する業務委託契約について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・ PEDEN BLOODSTOCK と特別契約を締結する理由は何か。
⇒説明した内容のほか、これまでの実績により NOC、国際馬術連盟、馬術関係者からの深い信頼がある。また、IOC からも推奨されている。
- ・ 空港から馬事公苑までも本契約に含まれているか。
⇒日本の空港から馬事公苑までは、組織委員会が別途委託する。
- ・ PEDEN BLOODSTOCK は各国の農林水産省にあたる行政機関と協議をして馬の検疫の内容自体を決めていくことになる。
- ・ パラリンピックの輸送は9月4日までであるが、契約期間は2020年12月31日までとなっている。契約期間終了まで3か月以上の間が空いている理由は何か。
⇒業務内容を鑑みてのものであるが、委託期間の長さは契約金額に影響しない。
- ・ チャーター便の方が安くなるのは何頭以上か。
⇒1機につき40頭前後。定期貨物便は他の荷物との合積みになるので、詰める量が限られ何度も就航することになりコストが上がる。
- ・ 北米や豪州の50頭について、定期便の方がコストは下がるのか。
⇒チャーター便を手配するほどの頭数がない。
- ・ 費用の妥当性はどのように判断したのか。
⇒単純比較は難しいが、過去大会を参考にしている。地理的条件が似ている北京大会では、香港で馬術競技を行っており比較検討している。欧州から香港と欧州から日本の空港までを比較すると、直線距離で日本の空港の方が3,000 kmほど遠く、距離、頭数、運賃などの差を考慮すると、東京大会は北京大会に比べて競技馬の輸送コストはどうしても高くなるため、妥当な金額と考える。
- ・ 一頭で十数億円するような馬がいるなど、競技馬のトップクラスが集まるため、国際大会では一般的に海上輸送ではなく空輸を行う。

(3) エネルギー業務運営及び関連工事監理業務委託の発注について

<説明・確認>

- ・ 事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・ 「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・ 資料7「背景」に「技術的知識を持った人員を確保する必要」とあるが、この技術的知識とは電機に関する知識を持っていればよいのか、現場経験も含めて期待しているのか。
⇒工事監理費業務を含むため、知識だけではなく現場経験も必要。

- ・大規模イベント用のノウハウとは、どのようなものを想定しているか。
⇒サッカーワールドカップ。
- ・「NRG に必要となる業務量の推移と委託範囲」について、計画の作成支援に（最大）増 11 人／日とあるが、必要と考える人員は平均すると何名か。
⇒平均すると 8、9 名。
- ・「設計監修・工事監理」は、現場に配置されると思うが、「10 月以降：平均 1 会場に 1 人/日を配置」とすると、「増 21 人／日」に「増 25 人／日」を加えると一日当たり 46 人の増となる。会場は 45 か所ではないのか。
⇒IBC/MPC や選手村は 1 名ではなく 2、3 名配置する一方で、期間が短い競技は他の会場と兼務にしている。
- ・組織委員会の技術職員では対応できないのか。
⇒技術職員の出向者は少ない。
- ・IOC から求められている削減努力はできているのか。
⇒面積を削った分については削減できている。

(4) NESA に基づく機器発注について（第 2 回）

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の 4 点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・第 1 回、第 2 回発注の契約は第 24 回東京都作業部会で報告した NESA の包括契約の予算枠に収まっているのか。また、今後予定される第 3 回、第 4 回発注も含めて収まる見込みか。
⇒収まる。

3 意見交換 特になし

4 閉会